

## 継続的専門能力開発(CPD)認定登録書(参加学習型)

プログラム番号	
教育形態	セミナー
プログラム名	品質管理セミナー 『KI法』による問題解決能力の向上コース
主催者(団体)	一般財団法人日本規格協会
協賛・後援	
開催日程	詳細につきましては、日本規格協会ホームページをご覧ください。
総時間	6 時間
対象者	従来 of QC ストーリー等で行き詰まった問題を抱えている管理者、技術者の方々
定員	
題目	
プログラム(次第)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業における7品質管理の必要性</li> <li>・『KI法』の基本的な考え方と内容について</li> <li>・問題解決訓練について</li> <li>・問題を解くときの教</li> <li>・解決した事例の紹介</li> <li>・問題解決訓練の演習</li> </ul> <p>※プログラムは変更になる場合がございます。</p>
内容	<p>□問題解決能力の向上を図る決定版！</p> <p>固有技術を駆使しても解決できない問題はどうしたら解くことができるだろうか。この課題を解決するのが『KI法』です。『KI法』は故磯部邦夫先生が長年にわたって開発された問題解決法です。この手法の基本的な考え方は</p> <p>(1) 世の中の現象はすべてばらついている。</p> <p>(2) 結果がばらついているのは要因がばらついているからである。言い換えれば、結果がばらついているのに要因がばらついてないということはない。</p> <p>という思想に基づき、結果のばらつきを問題として、ばらついている要因を探してゆくのが『KI法』の特徴です。</p> <p>また、品質のばらつきが大きいことを品質管理では“問題”と呼んでいます。即ち、不良品が出ることを問題と考えている人が多いが、“ばらついていること”が問題なのです。ばらつきが大きいと規格からはみ出て不良品になるのです。この“ばらつきが大きいこと”を問題として解くことにより、工程能力を向上し <math>C_p \leq 1.67</math> にすることにより検査の簡略化を図ることが可能になります。</p> <p>併せて、このような考え方で問題解決に取り組むことにより問題解決能力の向上につながってゆきます。</p> <p>当セミナーでは10数年にわたり故磯部邦夫先生の薫陶を受けた講師が指導を受けた事例を豊富に交えながら『KI法』の神髄を紹介します。</p>
プログラムの目標	
CPD点数	20 点

料金	一般 : ￥ 32,400 <税込>、日本規格協会 維持会員 : ￥ 29,160 <税込> ※参加費は、テキスト・資料代を含んだ金額です。
備考(問い合わせ先)	一般財団法人 日本規格協会 研修ユニット TEL: 03-4231-8570 FAX: 03-4231-8675
詳細URL	<a href="https://webdesk.jisa.or.jp/seminar/W12M1010/index/001/005/007">https://webdesk.jisa.or.jp/seminar/W12M1010/index/001/005/007</a>